

健康都市やまとMANABI計画  
(大和市生涯学習推進計画)

別 冊

## 1. 健康都市やまとMANABI計画延伸の理由

- 令和5年5月に就任した現市長は、選挙や所信表明において、市民が幸せを実感できる大和市を目指すことのほか、防災、教育、福祉、経済等の面で新たなまちづくりの方針を示しました。
- この方針は市の政策及び施策全般に関わっていて、将来都市像や政策の方向性を示す基本構想から見直す必要があるため、計画期間が2025年度（令和7年度）から始まる新たな総合計画を策定することとなりました。
- この新たな総合計画の計画期間に対し、健康都市やまと総合計画の前期基本計画の計画期間は2023年度（令和5年度）までとなっていたため、2024年度（令和6年度）が基本計画のない期間とならないよう、前期基本計画に示す施策等は継続するとして、その計画期間を1年間延伸することとなりました。
- 健康都市やまとMANABI計画は、健康都市やまと総合計画の個別計画として、本市の他の計画と整合を図りながら策定する必要があるため、同様に1年延伸することとなりました。

### 【成果を計る指標と目標値】

施策目標		個別目標		施策の内容	成果を計る指標
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(1)	市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供	「健康都市大学」を開講します	健康都市大学の受講者数
				市の施設を活用し、市民の「居場所」を提供します	市民1人あたりの学習センター来館回数
				誰でも気軽に利用できる学習スペースを提供します	
				気軽に立ち寄ることのできる図書館で学習機会を提供します	図書館の来館者数
		1-(2)	生涯各期に合わせた学習機会の提供	乳幼児期に対応する学習機会を提供します	乳幼児期に対応する講座等の延べ参加者数
					図書館や保育園などでのおはなし会の延べ参加者数

## 2. 健康都市やまとMANABI計画延伸に伴う改訂

- 目標年次の変更と成果を計る主な指標の最終目標値※の再設定（2024年度の目標値の設定）を行います。
- 現状と課題、取り組み方針等、上記以外の内容は変更しないこととして、計画の継続性が保たれるようにします。

※最終目標値：計画期間の最終年度における目標値

### (1) 目標年次

- 目標年次は2024年度（令和6年度）とします。

### (2) 成果を計る指標・具体的な取組（実施計画）

- 健康都市やまと総合計画策定時点における目標値設定の考え方を基本として最終目標値（2024年度の目標値）を設定しました。
- 各指標、具体的な取組（実施計画）の現状値、最終目標値、目標値の設定理由等は下表のとおりです。

◎変更した最終目標値及び設定理由の変更部分に下線を引いています。

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定理由
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
—	2,600人	—	学びを通じた市民の居場所、交流の場の提供の成果として、健康都市大学で新設する「市民でつくる健康学部」の受講者数を成果指標とし、目標値は一週間で50人、年間で2,600人とします。 <u>令和5年度で事業終了</u>
4.74回	6.42回	<u>6.55回</u>	市民の居場所、学習スペースの提供の成果として、市民一人あたりの学習センター来館回数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値(年2%増)とします。
3,053,751人	4,177,000人	<u>4,218,787人</u>	図書館での学習機会の提供の成果として、図書館の来館者数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値(年1%増)とします。
6,927人	7,646人	<u>7,801人</u>	乳・幼児期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、最終目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
3,103人	3,420人	3,420人	乳・幼児期に対応する学習機会の提供の成果として、おはなし会の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は総合計画に掲げる値とします。

施策目標		個別目標		施策の内容	成果を計る指標
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(2)	生涯各期に合わせた学習機会の提供		青少年期に対応する講座等の延べ参加者数
				青少年期に対応する学習機会を提供します	ユースクラブの活動日数
					こども体験事業参加者数
				成人期に対応する学習機会を提供します	成人期に対応する講座等の延べ参加者数
				高齢期に対応する学習機会を提供します	高齢期に対応する講座等の延べ参加者数
		1-(3)	市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供	市民ニーズに応える学習機会を提供します	アンケートによる参加者の満足度
				社会状況に対応した「現代的課題」に関する学習機会を提供します	現代的課題に対応する講座等の延べ参加者数
		1-(4)	スポーツや健康に関する学習機会の提供	スポーツに親しめる学習機会を提供します	スポーツ教室延べ参加者数

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定理由
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
1,330人	1,466人	<u>1,498人</u>	青少年期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、最終目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
90日	92日	92日	青少年期の健全育成、能力開発に寄与する体験機会の提供の成果として、ユースクラブの年間活動日数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。
29人	30人	30人	青少年期に対応する体験機会の提供の成果として、こども体験事業の参加者数を成果指標とし、目標値は定員数とします。
613人	674人	<u>690人</u>	成人期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
693人	762人	<u>780人</u>	高齢期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
94%	94%	94%	市民ニーズに応える学習機会の提供の成果として、アンケートによる参加者の満足度を成果指標とし、最終目標値は現状を維持する値とします。
1,615人	1,780人	<u>1,819人</u>	現代的課題に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
1,062人	1,196人	<u>1,230人</u>	スポーツに親しめる学習機会の提供の成果として、スポーツ教室の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は「第2期大和市スポーツ推進計画」に掲げる値(年2%増)とします。

施策目標		個別目標		施策の内容	成果を計る指標
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(4)	スポーツや健康に関する学習機会の提供	スポーツに親しめる学習機会を提供します	年1回以上直接会場でスポーツを観戦している人の割合
				健康維持・増進につながる学習機会を提供します	健康に関する講座等の延べ参加者数
		1-(5)	芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供	芸術や文化に親しむことができる学習機会を提供します	芸術・文化に関する講座等の延べ参加者数
				歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します	つる舞の里歴史資料館で開催する企画展(3館合同含む)の来館者数
					歴史文化施設の利用者数
		2	学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます	2-(1)	情報提供や学習相談による支援
学習相談による充実した支援を行います	学習に関する相談件数				
学習相談による充実した支援を行います	レファレンス受付件数				

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定理由
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
34.3%	37.3%	<u>37.8%</u>	スポーツの大会や試合などの観戦機会の提供の成果として、年1回以上直接会場でスポーツを観戦している人の割合を成果指標とし、目標値は「第2期大和市スポーツ推進計画」に掲げる値(年0.5%増)とします。
125人	135人	<u>141人</u>	健康維持・増進につながる学習機会の提供の成果として、健康に関する講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
263人	288人	<u>296人</u>	芸術や文化に親しむことができる学習機会の提供の成果として、芸術・文化に関する講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
1,740人	2,400人	2,400人	地域の歴史や文化を知る学習機会の提供の成果として、つる舞の里歴史資料館で開催する講座の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は過去5年間の最大値とします。
54,443人	61,200人	61,200人	地域の歴史や文化に触れる機会の提供の成果として、市内の歴史文化施設の利用者数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。
5.39冊	5.85冊	5.85冊	地域の歴史や文化に触れる機会の提供の成果として、市内の歴史文化施設の利用者数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。
3,382件	3,962件	3,962件	学習相談による支援の成果として、学習に関する相談件数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。
295件	302件	302件	学習者のニーズに対応した支援の成果として、図書館でのレファレンス受付件数を成果目標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

施策目標		個別目標		施策の内容	成果を計る指標
2	学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます	2-(2)	人材や団体の育成と活用に関する支援	学習者や学習支援者、学習団体への支援の充実を図ります	学習団体の登録数
					「読み聞かせボランティア養成講座」等の延べ参加者数
		2-(3)	学習による市民相互の交流への支援	市民相互交流が生まれる学習活動や学習成果の発表を支援します	学習センターまつり参加団体数
					学習団体による講座等参加者数
					学習団体の活動支援件数
		3	学習のための環境や仕組みの充実を図ります	3-(1)	学習施設の適切な維持管理・機能の充実
3-(2)	支援・推進体制の充実				
				学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行います	審議した案件数 (スポーツ推進審議会)



現状値 (2017年度)	最終目標値		設定理由
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
1,761団体	1,849団体	<u>1,869団体</u>	学習団体等への支援の成果として、学習団体の登録数を成果指標とし、目標値は毎年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
127人	300人	<u>180人</u>	人材育成、活用に関する支援の成果として「読み聞かせボランティア養成講座」等の延べ参加者を成果目標とし、目標値は「こども読書わくわくプラン」の指標とします。 <u>令和6年度の目標値については「こども読書よむ読むプラン」の指標とします。</u>
170団体	180団体	180団体	学習活動や学習発表への支援の成果として、学習センターまつりの参加団体数を成果指標とし、目標値は現状から10団体上積みした180団体とします。
3,218人	3,550人	<u>3,695人</u>	学習活動への支援の成果として、学習団体による講座等参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
99件	104件	<u>105件</u>	学習団体への支援による市民交流機会の創出の成果として、学習団体の活動支援件数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
—	80%	80%	学習施設の適切な維持管理、機能の充実に計る成果として、アンケートによる利用者の満足度を成果指標とし、目標値は利用者の80%が満足している状態を目指します。
452人	630人	630人	市民の学習の場で行政の専門知識が活用された成果として、「どこでも講座」の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。
6件	6件	6件	学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行った成果として、審議会等で審議された案件数を成果指標とし、目標値は現状を維持する値とします。

施策目標		個別目標		施策の内容	成果を計る指標
3	学習のための環境 や仕組みの充実を 図ります	3-(2)	支援・推進体制 の充実	学識経験者とともに学習活 動を推進する方策の検討等 を行います	審議した案件数 (社会教育委員会議)
				3-(3)	関係機関との連 携推進
			特別教室開放利用者数		
			学校施設のスポーツ開放利用件数		
			青少年指導員の活動延べ日数		

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定理由
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
8件	8件	8件	学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行った成果として、審議会等で審議された案件数を成果指標とし、目標値は現状を維持する値とします。
22件	25件	25件	個人ボランティアとの連携の成果として、ボランティア講師利用件数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。
16,094人	17,766人	<u>18,124人</u>	学校との連携した学習の場の提供の成果として、市内小中学校の特別教室開放利用者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指します。
14,350件	15,082件	<u>15,233件</u>	地域との連携による地域スポーツ活動の振興、活性化に寄与する、学校施設のスポーツ開放利用件数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。
430日	450日	<u>456日</u>	青少年指導員の活動は、地域における青少年健全育成の活性化につながることから、青少年指導員の活動延べ日数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

【実施計画における具体的な取組と目標値】

施策目標		個別目標		施策の内容	具体的な取組
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(1)	市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供	「健康都市大学」を開講します	健康都市大学の開講数
				市の施設を活用し、市民の「居場所」を提供します 誰でも気軽に利用できる学習スペースを提供します	学習センターの開館日数 (生涯学習センター)
					学習センターの開館日数 (ポラリス)
					学習センターの開館日数 (つきみ野学習センター)
					学習センターの開館日数 (桜丘学習センター)
					学習センターの開館日数 (渋谷学習センター)
					図書館の開館日数 (市立図書館)
				気軽に立ち寄ることのできる図書館で学習機会を提供します	図書館の開館日数 (中央林間図書館)
					図書館の開館日数 (渋谷図書館)

◎変更した最終目標値及び設定根拠の変更部分に下線を引いています。

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定根拠
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
355回	363回	—	多くの市民に受講いただくために、シリアスの開館日の全てにおいて講義を実施します。初年度は4月10日開講のため講義数が若干減少します(うるう年366-休館日2-開講前9) <u>令和5年度で事業終了。</u>
363日	363日	<u>359日</u>	
359日	359日	359日	
357日	357日	357日	多くの市民に来館いただくために、可能な限り学習センターを開館します。
357日	357日	357日	
346日	346日	346日	
363日	363日	363日	
363日	363日	363日	市民により多く来館いただくために、可能な限り図書館を開館します。
346日	346日	346日	

施策目標		個別目標		施策の内容	具体的な取組
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(2)	生涯各期に合わせた学習機会の提供	乳幼児期に対応する学習機会を提供します	乳幼児期に対応する講座等の開催事業数
					おはなし会の開催回数
					青少年期に対応する講座等の開催事業数
				青少年期に対応する学習機会を提供します	ユースクラブが知識や技術を習得するための会議や研修の実施日数
					こども体験事業の活動報告パネルの展示日数
				成人期に対応する学習機会を提供します	成人期に対応する講座等の開催事業数
			高齢期に対応する学習機会を提供します	高齢期に対応する講座等の開催事業数	
		1-(3)	市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供	市民ニーズに応える学習機会を提供します	アンケート調査の実施回数

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定根拠
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
40事業	40事業	40事業	より多くの方に受講していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
282回	282回	255回	より多くの方に参加していただくために、現状の開催回数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。 令和6年度の目標値については「こども読書よむ読むプラン」の指標とします。
28事業	28事業	28事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
27日	27日	27日	ユースクラブの活動を活発化させるため、必要な知識や技術を習得するための会議や研修を実施し、その実施日数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、ユースクラブの活動の向上に資するものとします。
151日	151日	151日	より多くの方に参加していただくために、現状の展示日数を維持するとともに、展示内容を年度ごと検証し、魅力あるものとします。
15事業	15事業	15事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
11事業	11事業	11事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
148回	150回	150回	基本的にすべての講座でアンケートを実施し、アンケート結果を検証し、講座内容の改善につなげます。

施策目標		個別目標		施策の内容	具体的な取組
1	誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します	1-(3)	市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供	社会状況に対応した「現代的課題」に関する学習機会を提供します	現代的課題に対応する講座等の開催事業数
				1-(4)	スポーツや健康に関する学習機会の提供
		健康維持・増進につながる学習機会を提供します	スポーツ観戦機会の提供数		
		芸術や文化に親しむ学習機会を提供します	健康に関する講座等の開催事業数		
		1-(5)	芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供	歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します	芸術・文化に関する講座等の開催事業数
				つる舞の里歴史資料館企画展の開催回数	歴史文化施設の開催事業数
2	学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます	2-(1)	情報提供や学習相談による支援	生涯学習に関する情報を効果的に提供します	図書館の蔵書数



現状値 (2017年度)	最終目標値		設定根拠
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
38事業	38事業	38事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
14教室	14教室	14教室	より多くの方に参加していただくために、開催延べ教室数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
12回	12回	12回	スポーツを観戦している人の割合を増やすため、現状の提供数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
8事業	10事業	10事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数水準を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
8事業	8事業	8事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
3回	3回	3回	より多くの方に来館していただくために、現状の開催回数を維持し、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
65事業	65事業	65事業	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
623,000冊	686,000冊	686,000冊	市民により多く図書をご利用いただくために、図書館の蔵書を整備し、魅力あるものとします。

施策目標		個別目標		施策の内容	具体的な取組		
2	学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます	2-(1)	情報提供や学習相談による支援	学習相談による充実した支援を行います	学習相談員数		
					レファレンスサービスの広報回数		
		2-(2)	人材や団体の育成と活用に関する支援	学習者や学習支援者、学習団体への支援の充実を図ります	団体利用の登録説明会の開催回数		
					「読み聞かせボランティア養成講座」の開催回数		
		2-(3)	学習による市民相互の交流への支援	市民相互交流が生まれる学習活動や学習成果の発表を支援します	学習センターまつりの開催回数		
					学習団体による講座等の広報回数		
					まなびの輪支援事業説明会の実施回数		
		3	学習のための環境や仕組みの充実を図ります	3-(1)	学習施設の適切な維持管理・機能の充実	学習施設の適切な維持管理、機能の充実を図ります	利用者懇談会の実施回数

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定根拠
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
33人	33人	33人	市民により気軽に学習相談いただくため、必要な相談員を学習センター各館に配置し、その配置数を維持するとともに、相談内容の検証により相談スキルの向上を図ります。
4回	8回	8回	市民により気軽にレファレンスをご利用いただくため、レファレンスサービスの広報回数を増やすとともに、利用時における市民の意見も取り入れ、広報内容の改善を図ります。
1回	5回	5回	学習団体の登録を増やすため、学習団体の意義や登録の仕方について学習センターで説明会を行い、その開催を全5館に広げていくとともに、説明内容を検証して効果的な説明会になるよう改善してまいります。
11回	11回	11回	より多くの方に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとしします。
5回	5回	5回	より多くの団体に参加していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと検証し、魅力あるものに改善します。
700回	800回	800回	より多くの市民に参加していただくために、活動内容を広報するとともに、内容を年度ごと検証し、魅力あるものに改善します。
5回	5回	5回	学習団体に対する活動支援である、「まなびの輪支援事業」の利用を増やし、学習成果の地域還元につなげるため、学習センターで説明会を行い、その実施回数を維持するとともに、説明内容を検証して効果的な説明会になるよう改善してまいります。
10回	10回	10回	学習施設の利用者の満足度向上を図るため、利用者懇談会の実施回数を維持するとともに、利用者の意見を生かし、適切な維持管理、機能の充実を図ります。

施策目標		個別目標		施策の内容	具体的な取組
3	学習のための環境や仕組みの充実を図ります	3-(2)	支援・推進体制の充実	行政の専門性を活用して、市民の学習活動を支援します	「どこでも講座」の開催事業数
				学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行います	審議会等の開催回数 (スポーツ推進審議会)
		3-(3)	関係機関との連携推進	学校や市民の学習団体、民間教育機関、個人ボランティアなどとの連携を図ります	審議会等の開催回数 (社会教育委員会議)
					ボランティア講師登録数
				地域の各種団体等との連携を図るとともに、活動を支援します	特別教室開放施設数
					学校施設のスポーツ開放利用団体数
青少年指導員の委嘱人数					

現状値 (2017年度)	最終目標値		設定根拠
	改訂前 (2023年度)	改訂後 (2024年度)	
88事業	88事業	88事業	より多くの方に受講していただくために、現状の開催事業数を維持するとともに、内容を年度ごと改善し、魅力あるものとします。
5回	5回	5回	学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討を行う機会として、現状の審議回数を維持するとともに、内容を検証して、会議の実効性を高めます。
4回	4回	4回	
153人	153人	153人	ボランティア講師の利用を増やすため、現在の講師登録水準を維持するとともに、講義内容の検証を図ることにより、講義内容の魅力化を図ります。
9施設	9施設	9施設	学校との連携した学習の場として、市内小中学校の特別教室を開放し、その開放水準を維持するとともに、利用状況などを検証し、開放内容の改善を図ります。
456団体	476団体	<u>480団体</u>	学校施設のスポーツ開放利用件数を伸ばすため、利用を働きかけることにより、利用団体を増やします。(年1%増)
120人	120人	120人	青少年指導員の活動を維持するため、現状の委嘱人数の水準を確保します。